市民と議会の意見交換会

２０年先のまちを語る

市民と議会の意見交換会

　「２０年先のまちを語ろう」をテーマに、１０⽉１９⽇、ショッピングプラザアピア４階で第１１回市⺠と議会の意⾒交換会を⾏いました。この⽇は、市議会の取り組みについて報告を⾏った後、参加いただいた市⺠の皆さんと常任委員会ごとに⽤意したデータを⾒ながら、まちづくりの現状と課題などについて話し合いました。

総務常任委員会のテーブル

▪東京などから若い⼈が移住してくれるのは良いが、近隣市町との取り合いは不⽑。

▪壺型⼈⼝構成に移り、空き家が増えているのでは。今後もっと増える可能性⼤。

▪外国籍の人口が増加しているが、さまざまな宗教を学ぶ必要があるのでは。

▪外国籍の⽅とのコミュニケーションをとるのが難しく、防災対策などが⼼配。⾃治会に加⼊してもらうなど検討すべきでは。

▪少⼦化が問題になっているが、⼦どもを預けることばかりでなく、⾃分で⼦育てしながら仕事ができる環境をつくりたい。

福祉教育こども常任委員会のテーブル

▪学校内だけでなく、地域全体での結びつきを強め、⼦どもたちが地域の中で学び、⽀えられる仕組みが必要。

▪学童保育以外にも、⼦どもたちが⾃由に過ごせるオープンな共有スペースや選択肢を増やす必要がある。

▪親の働き⽅に柔軟性を持たせ、⽉に数回だけ働けるようなニーズに応じた働き⽅が必要。

▪⼦どもの主体性を⼤切にする教育が重要で、これが学童保育や特別⽀援教育にも役⽴つ。

▪⼦どもたちにボーダーラインを設けることが良いかどうかについて疑問がある。

産業建設常任委員会のテーブル

▪利便性や環境に配慮した公共交通を構築していく。

▪⼼の距離が近い買い物環境の実現を。

▪蒲⽣の農家は若者が引き継いでいる。これを市域に広げていく。

▪スマート農業の推進。農業の担い⼿を増やす対策として農業が体験できる体制づくり。スマート農業を⼩学⽣や若い世代に体験してもらう。

▪⼀⽇過ごせる⼤型店舗の出店や⾼齢者のための⾝近なお店が必要。

▪農作物は作り⼿の顔が⾒える安⼼安全な購買を促進したい。

▪四季に応じた⾃然環境を観光施策へ（ホタル、星、紅葉、新緑の⽥園⾵景など）。

人口構成の移り変わり

　上の４枚の図を⼈⼝ピラミッドといいます。⼈⼝ピラミッドは、⼈⼝の分布を男⼥別、年齢別にグラフにしたものです。縦軸が年齢で横軸が⼈⼝を表します。縦軸に向かって左が男性、右が⼥性の⼈⼝を⽰します。⼈⼝ピラミッドは、将来的に国や地域の⼈⼝の構成がどのようになっていくかが分かるため、政治や経済、まちづくりの対応策を講じるのに役⽴てることができます。